

市管理の河川に水位計をつけ、
「ふなっぶ」で情報発信することを求める陳情書

【願意】

1. 北谷津川、木戸川、駒込川、二和川など、市管理の主な河川に危機管理型水位計をつけてください。
2. 県管理の河川と市管理の河川の水位情報を、「ふなっぶ」で発信してください。

【理由】

1. 地球温暖化による豪雨が増えている中、「我が家の近くの川は大丈夫か」といって、水位を確認しに行く人が増えています。その過程で足を滑らせ、溺死した人のニュースもテレビや新聞で時々目にします。

去る6月2～3日の大雨では船橋史上5番目の累加雨量（34時間 235ミリ）を記録し、海老川は一時氾濫危険水位を超えました。念田川は氾濫し、飯山満川は海老川との合流点付近で溢れたと考えられます（資料参照）。

私は6月3日朝6時過ぎ、明るくなってから海老川の状況を見に行きましたが、飯山満川と海老川の合流点で、同様に水位を見に来た2人の市民に会いました。「心配でいてもたってもいられなくて」「焼肉いちばんの前の道は川になっていたよ」と、色々歩いて情報を得ている様子がうかがえました。一步間違えば怪我や命の危険にさらされる状態と言えます。

現在、インターネットで水位情報が得られる河川は、県管理の海老川、飯山満川、長津川以外ありません。すべて海老川水系の河川です。しかし市内には印旛沼水系や真間川水系の河川もあり、これらの川の情報はネットで見ることはできません。必然的に現場に行つて確認することになりますが、もしこれらがネットで見られれば、市民を危険から守ることができ

ます。

2. 市民に広く河川の水位情報を提供するツールとして、「ふなっふ」は大変有効です。ぜひ河川の水位情報ページをつくり、県及び市の河川の水位ページに飛べるようリンクを張って下さい。

以上

市議会は速やかに上記対策を取るよう、市に勧告をお願いいたします。